

業務概要 令和4年度版 (令和3年度実績)



オレンジリボンには
子ども虐待を防止する
というメッセージが
込められています。

滋賀県子ども・子育て応援センター
(愛称:こころんだいやる)

目 次

◆滋賀県子ども・子育て応援センターの概要	1
◆組織体制	4
◆相談の状況	
1. 年度別対比	5
2. 月別相談状況	6
3. 曜日別相談状況	7
4. 相談開始時刻別件数	8
5. 相談時間の内訳	9
6. 相談者の内訳	
(1)相談者（全体）の内訳	10
(2)相談者（本人）の内訳	11
(3)相談者（本人以外）の内訳	12
7. 相談対象者の内訳	15
8. 相談内容	16
9. 相談対象者別（年代別）相談内容	20
10. 相談者別の相談内容	
(1)相談者別の相談内容	22
(2)本人相談の相談内容	24
11. 虐待・いじめ相談	26
12. 他の機関への紹介および連絡	27
13. 相談まとめ	28
参考資料	
○他機関との連携	
・相談員等が紹介した機関	30
・相談員等が直接連絡した機関	33
○相談件数および推移	34

滋賀県子ども・子育て応援センター

概要

平成18年4月1日に、子どもが人権を尊重され、夢を持って健やかに育ち、子どもを安心して育てることのできる環境づくりを進めるため、滋賀県子ども条例が制定されました。

そして、同年6月、同条例第14条に基づき、育ち・育てる環境づくりのための活動等を推進するための拠点として、「滋賀県子ども・子育て応援センター」（以下「センター」という。）を設置し、児童虐待をはじめ、子育て、いじめ、不登校など悩みを持っている子ども・青少年本人とその保護者（養育者も含む。）のための電話相談（愛称・こころんだいやる）を開設しました。祝日を含め、毎日午前9時から午後9時まで（12月29日～1月3日除く）電話を受け付けています。

また、「淡海子ども・若者プラン」と「滋賀県児童虐待防止計画（平成27年3月改訂）」において、子どもの「助けてサイン」を受け止めるとともに保護者からの悩み相談の場として、センターを位置づけています。

子どもを支援していく上で、子どもの声や子育てで悩む保護者の声を聴くことは、大変重要です。

相談件数について、過去3年間は4000件超で推移していましたが、令和3年度は前年度より703件減少しています。これは、前年度の複数の頻回者さんの生活環境、子育て環境等に改善の兆しが見られ、相談件数が減少したことが大きく影響していると推測しています。また、虐待やいじめの相談も減少しています。これは、当センターよりむしろ専門的な支援機関への相談率が高まっていることや、学校などの所属や地域の支援機関による早期発見、対応が上手くいっていると希望的な観測をしています。さらに、コロナ禍での新しい生活様式による混乱や疲弊感に基づく類推も含めたコロナに関わる相談件数も減少しています。しかし、前年度は相談の流れからコロナに関連すると類推されるものを含めての件数でしたが、今年度は明らかにコロナに起因する相談ばかりで、コロナ禍の生活におけるストレスによる影響がより顕在化していることが感じられます。子ども・成人本人からの相談では、最近の傾向として進学先での学習のつまづき、就職適正、男女交際、学校や交友関係での悩みが多く、いじめなどの深刻な内容の相談では、多くの場合誰にも相談できず独りで抱え込んでいる背景がみられており、令和3年度も同様です。また、本来「守られる場」であるはずの家庭や家族との関係で悩み、センターへの相談に至ったケースも多くあります。これらは現代社会の歪みが現れたもので、社会を映す鏡といわれる子どもたちを取り巻く環境の複雑さと深刻さが浮き彫りにされているように思われます。

保護者からの相談では、乳幼児期の子育てに関して「子育てが上手くいかず、自分を責めてしまう」という不安を独りで抱え込んでいるケースが相変わらず多いようです。また、「イライラして子どもに手が出てしまう」といった虐待相談や、「我が子がいじめられて登校できない。学校に相談しても解決しない」といったいじめ被害相談、学校の対応に対する不満等の相談、ママ

友・職場の人間関係の悩みも多く寄せられています。また、保護者自身の心身の健康状態から子どもの健全な育ちが懸念されるケースも多いようです。

いずれの相談も傾聴を基本にしながら、相談者自身が解決策を見いだせることに相談の視点を置いています。深刻なケースにおいては、相談内容に応じた適切な支援機関を紹介することや面接相談などにも努めています。

また、電話相談の受け手を増やしてより活動が充実するように、民間団体と共同で相談を受ける方を対象とした養成講座も行っています。

◇設置場所

滋賀県庁 東館 3 階（大津市京町 4 丁目 1 番 1 号）

◇電話番号

電話相談（こころんだいやる） 0 7 7 - 5 2 4 - 2 0 3 0
全国共通（24 時間子供 SOS ダイアル） 0 1 2 0 - 0 - 7 8 3 1 0
面接相談（予約制） 0 7 7 - 5 2 8 - 3 5 6 3
※ファックスの相談 (FAX 0 7 7 - 5 2 8 - 4 8 5 5)

◇開所日

電話相談 土曜日、日曜日、祝日を含め毎日（12/29～1/3 を除く）午前 9 時～午後 9 時
面接相談 土曜日、日曜日、祝日を除く毎日（12/29～1/3 を除く）午前 9 時～午後 4 時

◇沿革

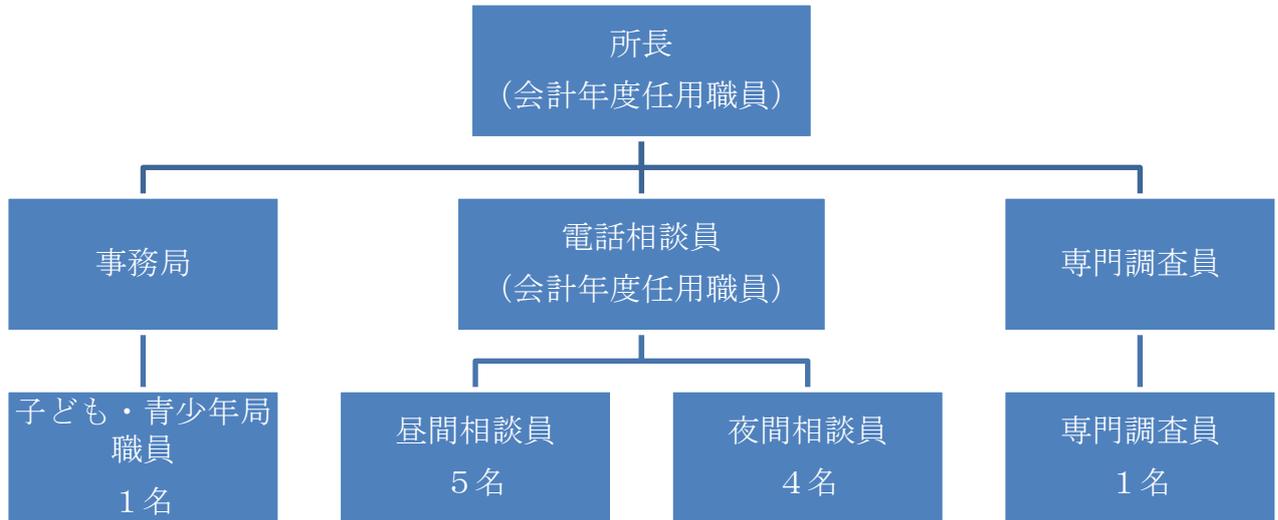
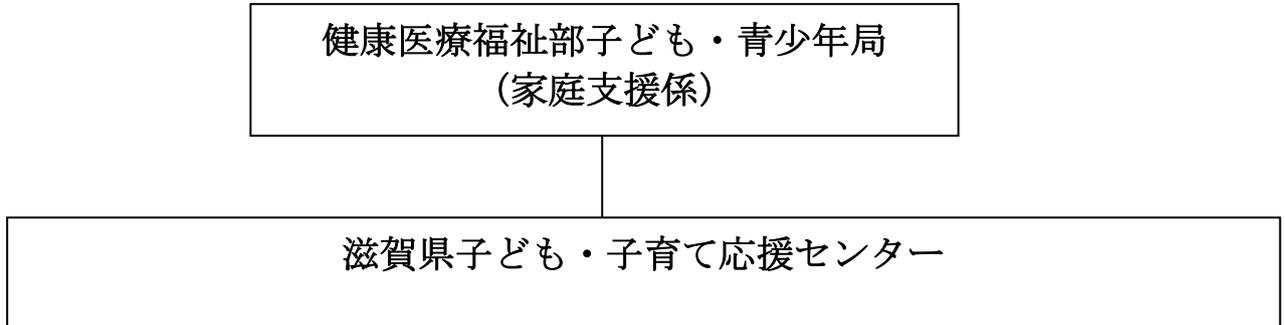
平成 13 年度に子どもと子育てに関する一次的な相談機能をもっている以下 6 つの既設の電話相談窓口を統合再編し、「児童の権利に関する条約」が国連で採択された日にちなんで、11 月 20 日に「青少年・子ども電話総合相談室」を開設し、公募により愛称を「こころんだいやる」としました。その後、平成 18 年 6 月に、「青少年・子ども電話総合相談室」の業務を拡大・改編し、「子ども・子育て応援センター」として現在に至っています。

統合機関（平成 13 年度に統合した機関）

名称	所管（当時）	
子どもと家庭の 110 番	健康福祉部	児童家庭課
いじめホットライン滋賀	教育委員会	学校教育課
進路変更相談電話	教育委員会	学校教育課
あゆっ子電話相談	教育委員会	生涯学習課
少年アドバイスルーム	教育委員会	生涯学習課青少年室
ヤングテレホン滋賀	警察本部	少年課

組織体制

(令和3年4月1日現在)



相談の状況

1. 年度別対比

令和3年度に、電話相談「こころん дайやる」へ寄せられた相談件数は3,795件で、前年度4,498件に対し約15.6%減となりました。（このほかに無言電話が787件ありました。）その内、面接相談、その他（FAXなど）の相談件数は1件でした。一日あたりの平均相談件数は、10.6件（前年度12.5件）（無言電話除く）と増加しております。

なお、相談者が一言も発しなかったものは無言電話として捉え、電話相談件数には含めていません。

【相談状況の年度別推移】

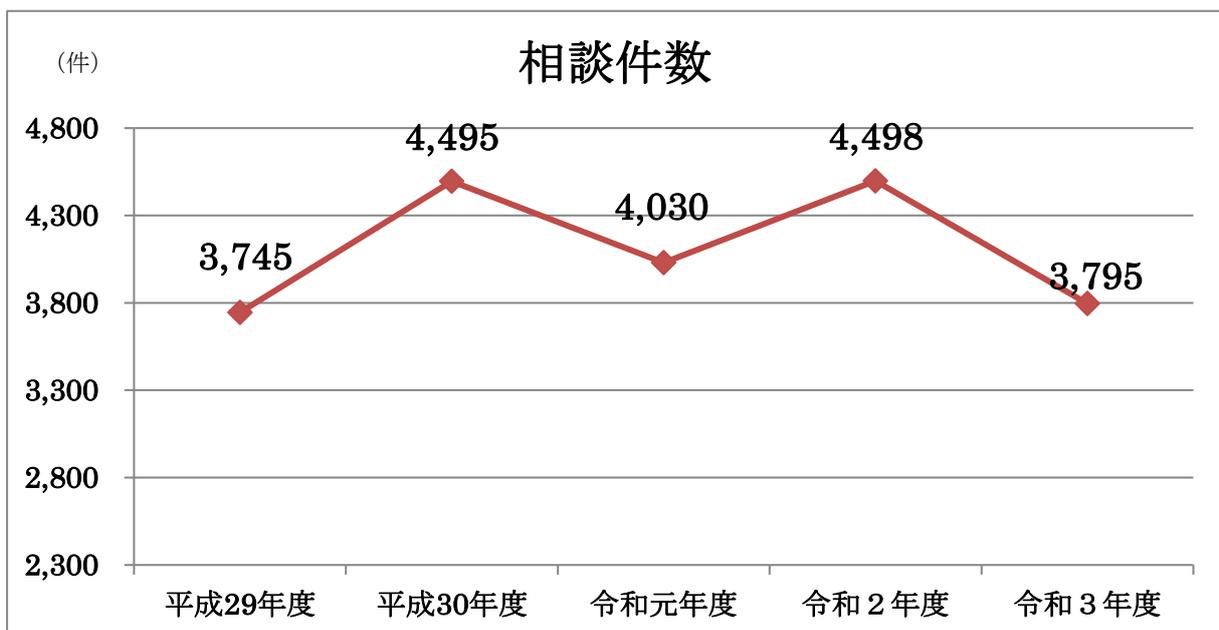
(件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年比
電話相談	4,026	4,498	3,794	▲704
面接相談	4	0	1	+1
その他（FAX等）	0	0	0	0
相談合計	4,030	4,498	3,795	▲703
無言電話	1,022	1,298	787	▲511
合計	5,052	5,796	4,582	▲1,214

【一日あたり平均相談件数】

(件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年比
平均相談件数	11.2	12.5	10.6	▲1.9



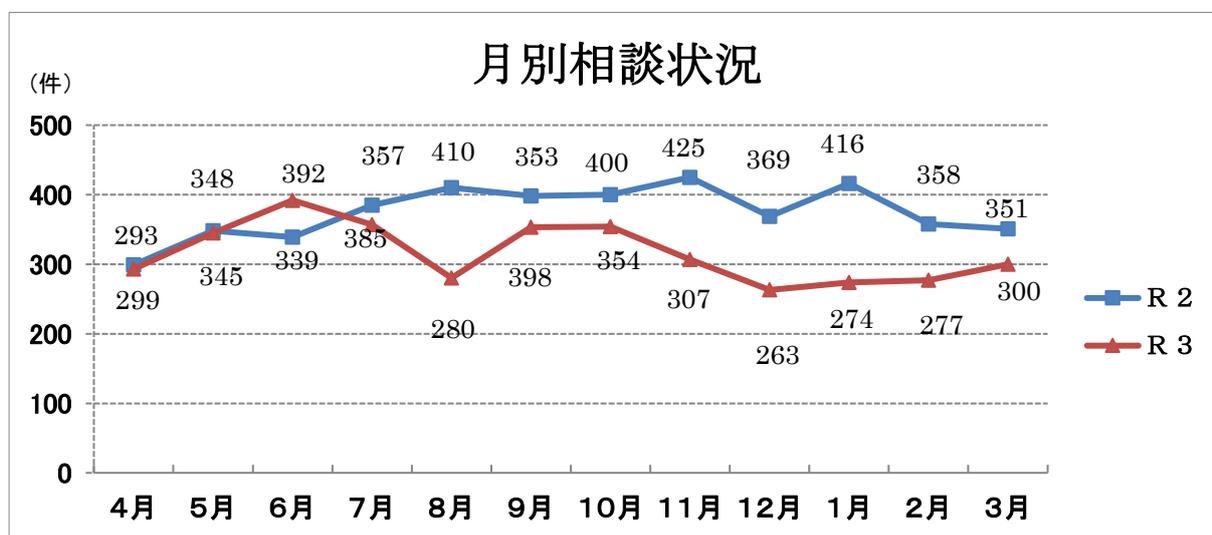
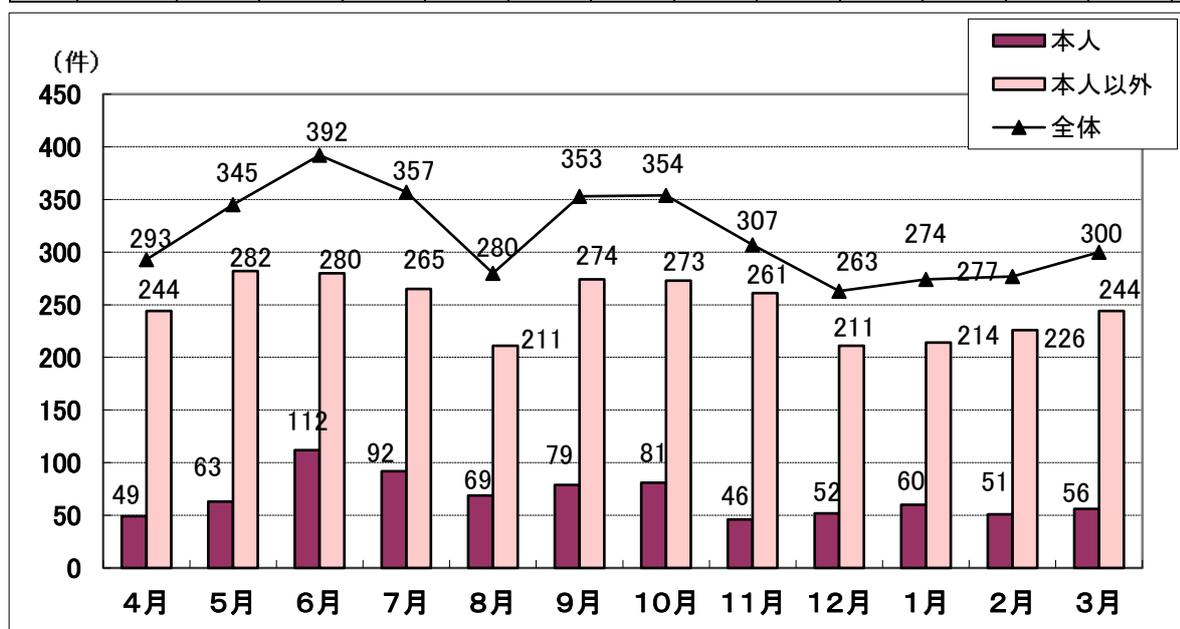
2. 月別相談状況

相談状況を月別にみると、6月が392件と最も多く、次いで7月の357件となっています。これは、新しい年度が始まって2カ月ほど経過し、ストレスなど様々な問題が顕在化してきたことが影響していると考えられます。逆に少ないのは、12月（263件）、1月（274件）の順ですが、新型コロナウイルスの感染状況が好転し日常生活におけるストレスの軽減が影響しているのではないかと考えられます。

【月別相談件数】

(件)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2全体	299	348	339	385	410	398	400	425	369	416	358	351	4,498
R3全体	293	345	392	357	280	353	354	307	263	274	277	300	3,795
本人	49	63	112	92	69	79	81	46	52	60	51	56	810
本人以外	244	282	280	265	211	274	273	261	211	214	226	244	2,985

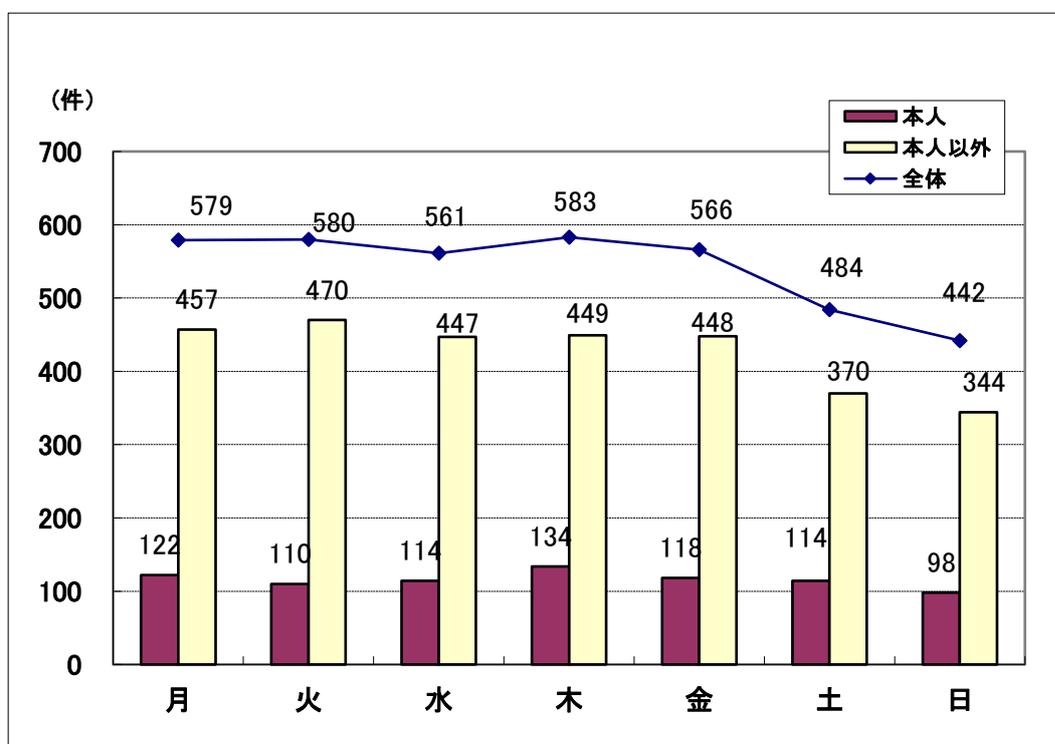


3. 曜日別相談状況

相談状況を曜日別に見ると、前年度同様土曜日、日曜日が少ない状況にあります。相談者別にみると、特に「本人以外」が土曜、日曜は平日に比べて少なく、月別相談状況と同じく子どもが家にいると保護者等が電話しづらい状況にあることが考えられます。

(件)

年度\曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
R2全体	762	666	658	631	587	573	621	4,498
R3全体	579	580	561	583	566	484	442	3,795
本人	122	110	114	134	118	114	98	810
本人以外	457	470	447	449	448	370	344	2,985



4. 相談開始時刻別件数

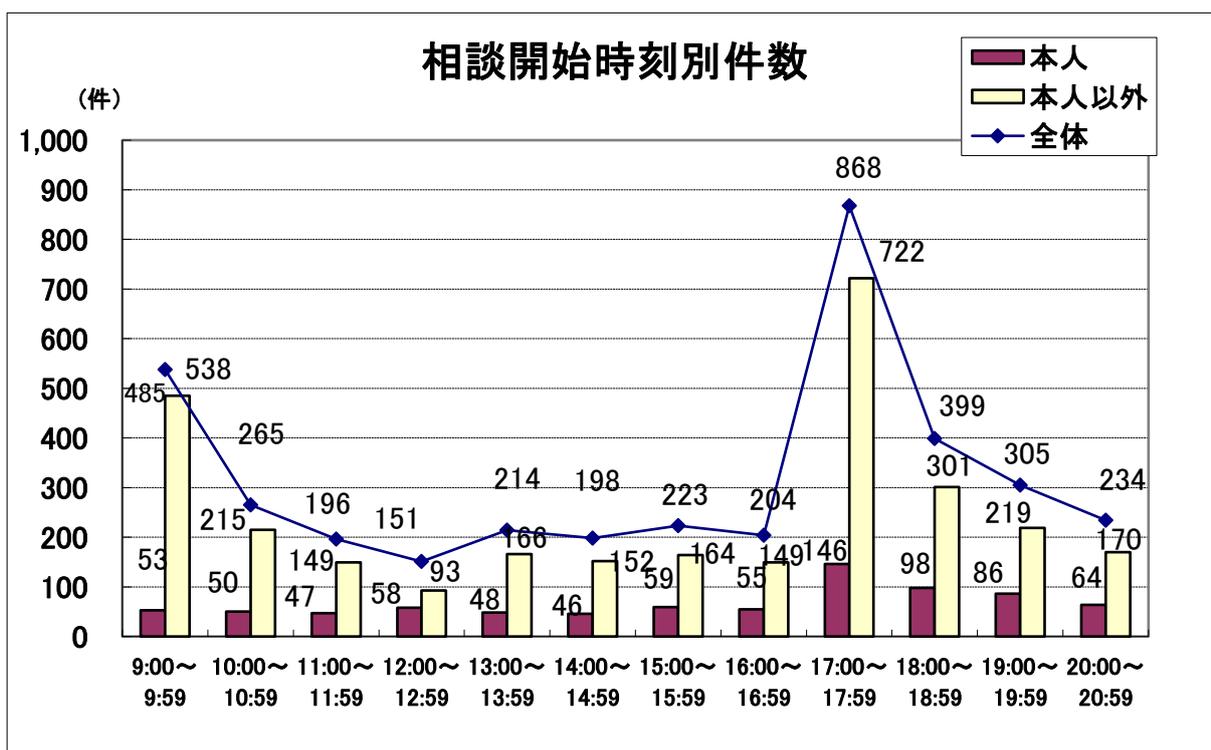
午前9時から午後9時までの1時間単位で相談開始時刻別の相談件数を見ると、「午後5時から午後6時まで」、「午前9時から午前10時まで」の順に多く、それぞれ868件、538件となっています。

相談者別に見ると、「本人」からの電話は、午後5時から午後6時までが多くなっています。子ども本人が不安な思いを翌日に持ち越すことがつらく、下校後にその思いを解消するためと思われます。また、「本人以外」からの電話も、「午後5時から午後6時まで」が最も多く、次いで「午前9時から午前10時まで」が多くなっています。これは、家族が留守になったり家事が落ち着くなどにより、母親などが電話しやすい時間帯であることと、夕方に子どもが帰宅し、そこで生じる様々な悩みや不安を解決したいとの思いが生じる時間帯であろうことがうかがえます。

【相談開始時刻別件数】

(件)

年度 \ 時間	9:00 ~ 9:59	10:00 ~ 10:59	11:00 ~ 11:59	12:00 ~ 12:59	13:00 ~ 13:59	14:00 ~ 14:59	15:00 ~ 15:59	16:00 ~ 16:59	17:00 ~ 17:59	18:00 ~ 18:59	19:00 ~ 19:59	20:00 ~ 20:59	計
R2全体	494	277	255	198	277	292	267	257	930	480	441	330	4,498
R3全体	538	265	196	151	214	198	223	204	868	399	305	234	3,795
本人	53	50	47	58	48	46	59	55	146	98	86	64	810
本人以外	485	215	149	93	166	152	164	149	722	301	219	170	2,985

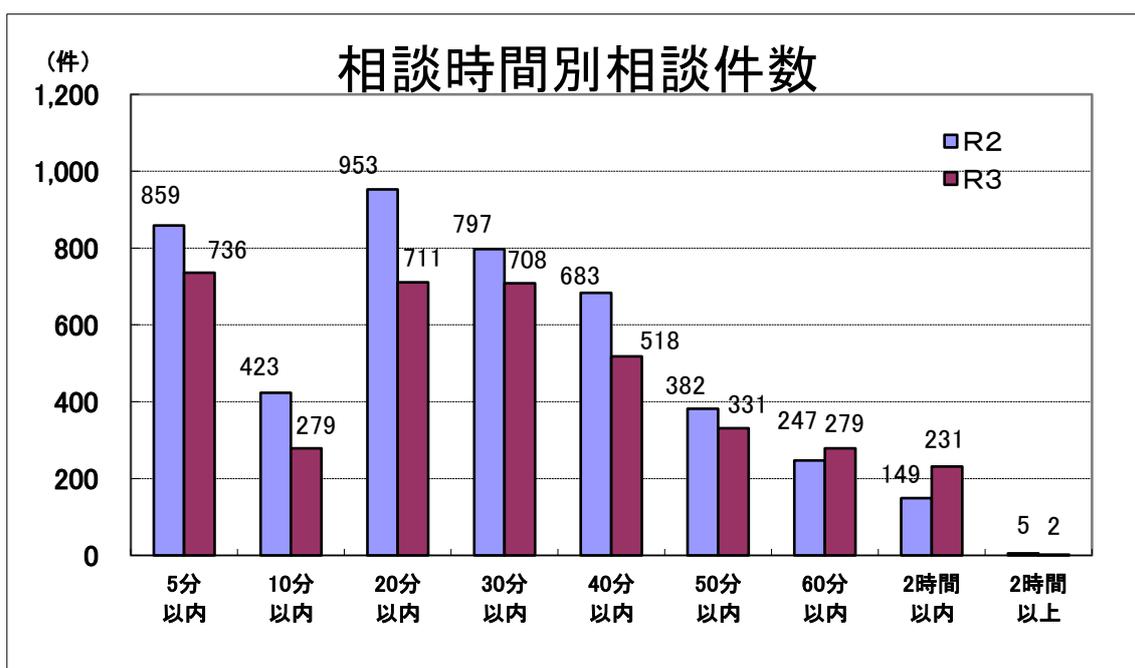
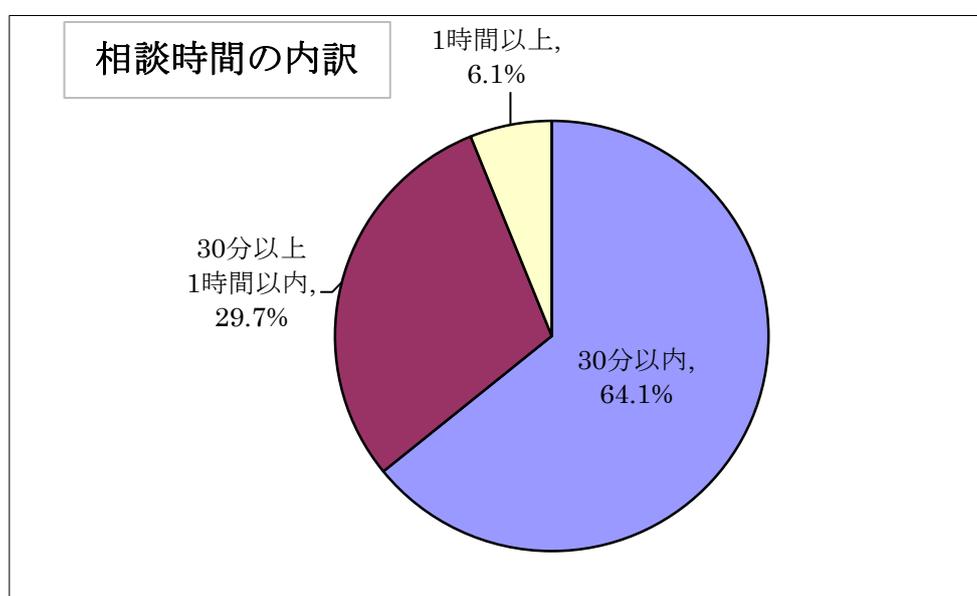


5. 相談時間の内訳

一件の相談に要する所要時間を見ると、「30分以内」が64.1%を占め、5分以内の件数が736件で全体の19.4%ありますが、これは問い合わせやいたずら電話も含まれるためです。また、「30分以上1時間以内」が1,128件（29.7%）となっており、男女交際の悩みや精神疾患を患う親の子育て、関係機関との関わりで悩む人からの相談で1時間を超えるものは、233件（6.1%）でした。

【相談時間の内訳】

	30分以内	30分以上 1時間以内	1時間以上	合計
R 2	3,032	1,312	154	4,498
R 3	2,434	1,128	233	3,795



6. 相談者の内訳

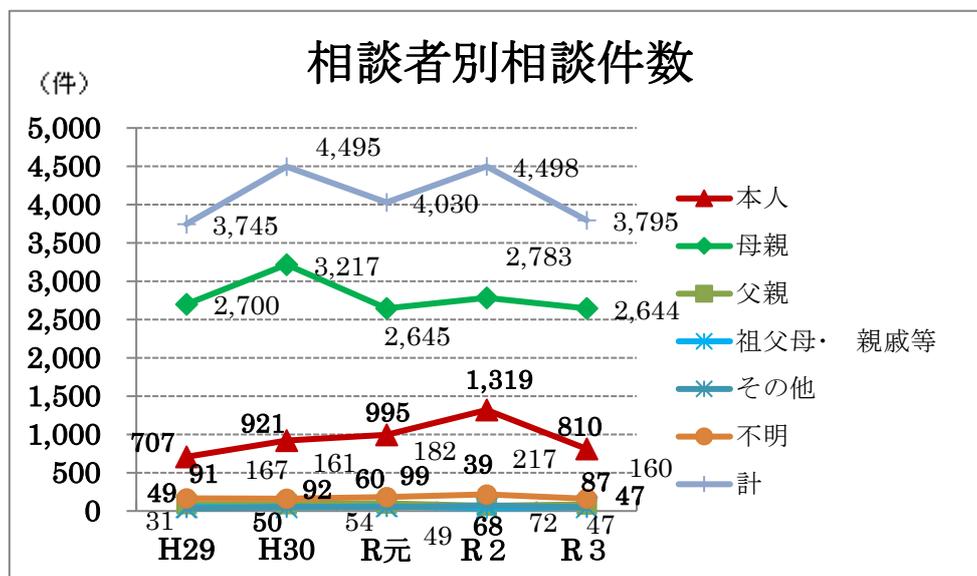
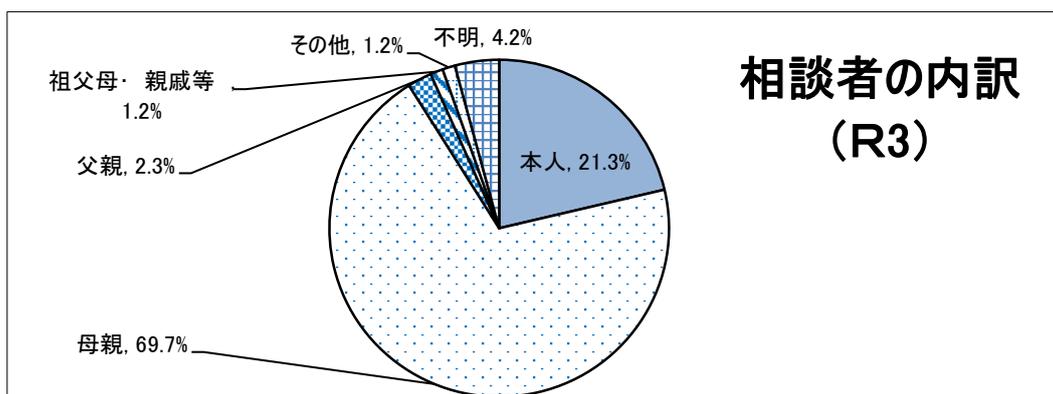
(1) 相談者（全体）の内訳

相談者別に見ると、「母親」からの相談が 2,644 件（69.7%）と最も多く、次いで、「本人」からの相談が 810 件（21.3%）で、「本人」と「母親」を合計すると、3,454 件と全体の 91.01%（R2年度 91.2%）を占めています。なお、「父親」からは 87 件で 2.3%（R2年度 1.5%）となっており、若干増加していますが、今年度も子育てについては、母親が中心で父親の関わりの少なさがうかがえます。

【相談者の内訳】

(件)

	本人	母親	父親	祖父母・ 親戚等	その他	不明	計
H29	707	2,700	91	49	31	167	3,745
H30	921	3,217	92	50	54	161	4,495
R元	995	2,645	99	60	49	182	4,030
R2	1,319	2,783	68	39	72	217	4,498
R3	810	2,644	87	47	47	160	3,795



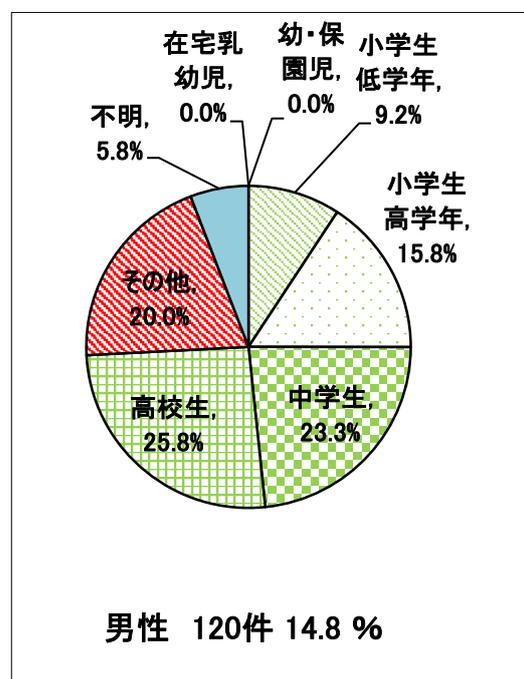
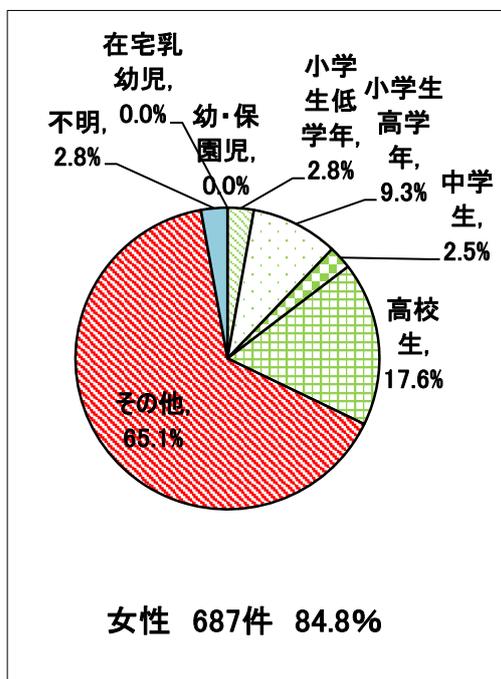
(2) 相談者（本人）の内訳

子ども・青少年「本人」からの相談件数は 810 件あり、そのうち男性からの相談は 120 件 (14.8%) 女性からの相談は 687 件 (84.8%) です。また、性別に見ると、男性では「高校生」で 31 件 (25.8%)。女性では「在宅」が多数を占める「その他」で、447 件 (65%) が最も多くなっています。なお、「不明」の理由は、相談者が自由に心の奥を開示できるよう、相談者のペースを乱さないよう敢えて尋ねることを控える事があるためです。

【相談者（本人）の内訳】

年度\相談者	在宅乳幼児	幼・保園児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
R2	0	0	34	53	89	97	1,029	17	1,319
R3	0	0	30	85	45	152	471	27	810
男	0	0	11	19	28	31	24	7	120
女	0	0	19	64	17	121	447	19	687
不明	0	0	0	2	0	0	0	1	3

(「その他」には、専門・大学生および在宅、就労青年を含む)

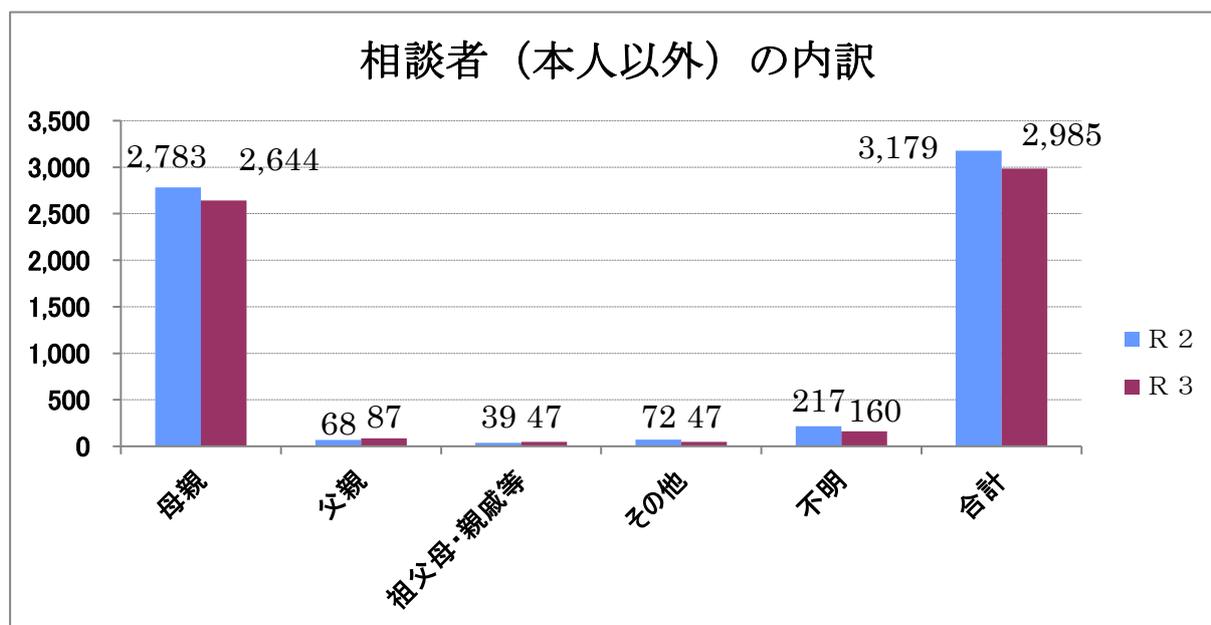


(3) 相談者（本人以外）の内訳

「本人以外」からの相談件数は2,985件あり、その内訳で最も多いのは「母親」からの相談で2,644件（88.6%）、次いで多いのは「不明」で160件（5.4%）となっています。家家族や親戚以外の「その他」からの相談は47件（1.6%）ありました。

【相談者（本人以外）の内訳】

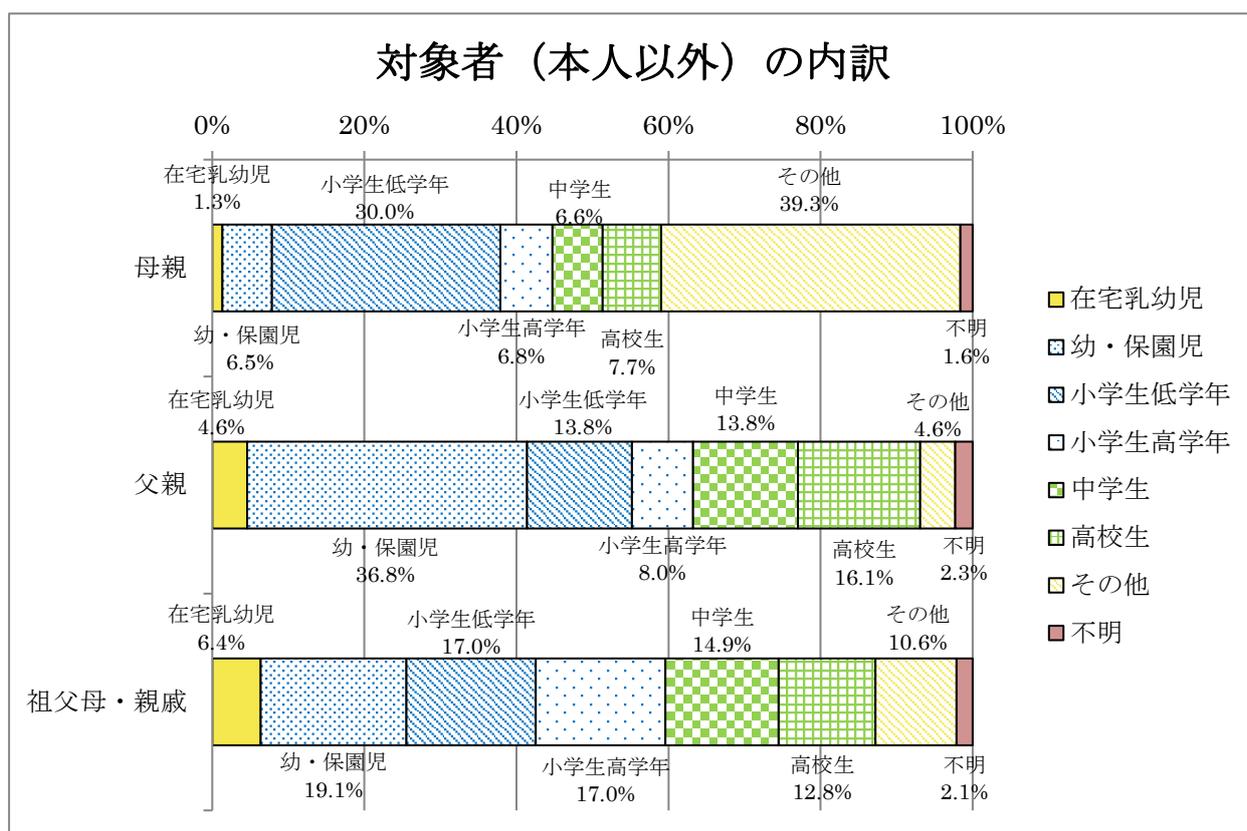
	母親	父親	祖父母・親戚等	その他	不明	合計
R2	2,783	68	39	72	217	3,179
R3	2,644	87	47	47	160	2,985



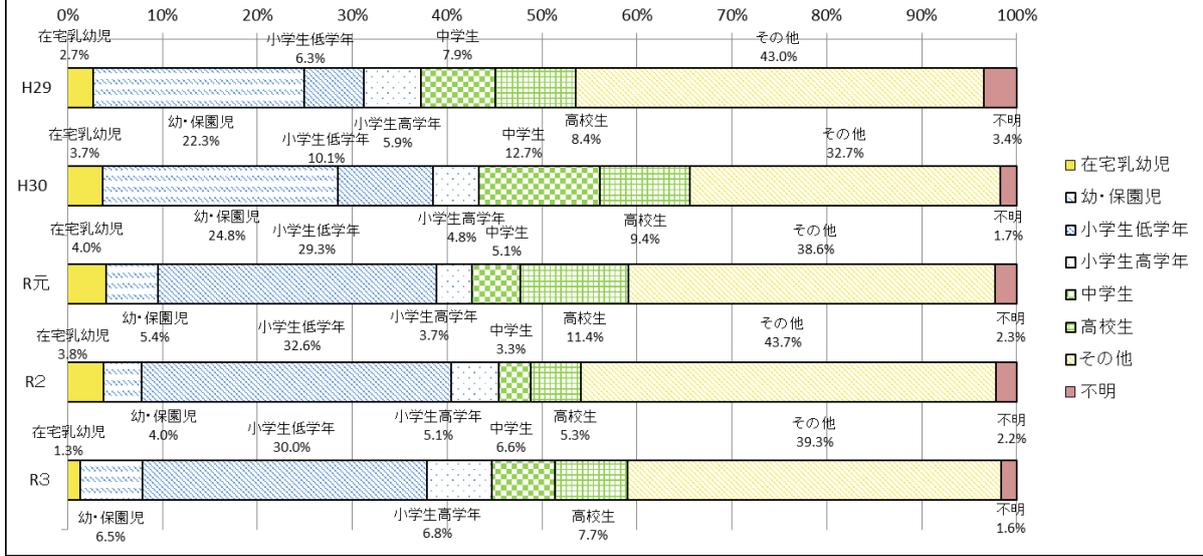
「母親」からの相談を相談対象者別（年代別）にみると「その他」が1,040件で全体の34.8%を占め最も多く、次に「小学生低学年」で、794件で全体の26.6%となっています。小学生高学年から中高校生に関する相談が多いのは、いじめ被害、進路問題や思春期の関わりに悩んでかけてくる電話が多くなっているためです。

相談者 \ 相談対象者	在宅乳幼児	幼・保育園児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
R2	117	151	935	156	120	153	1,228	319	3,179
R3	42	217	816	201	201	229	1,054	225	2,985
母親	35	173	794	181	175	203	1,040	43	2,644
父親	4	32	12	7	12	14	4	2	87
祖父母・ 親戚等	3	9	8	8	7	6	5	1	47
その他	0	3	2	5	7	5	4	21	47
不明	0	0	0	0	0	1	1	158	160

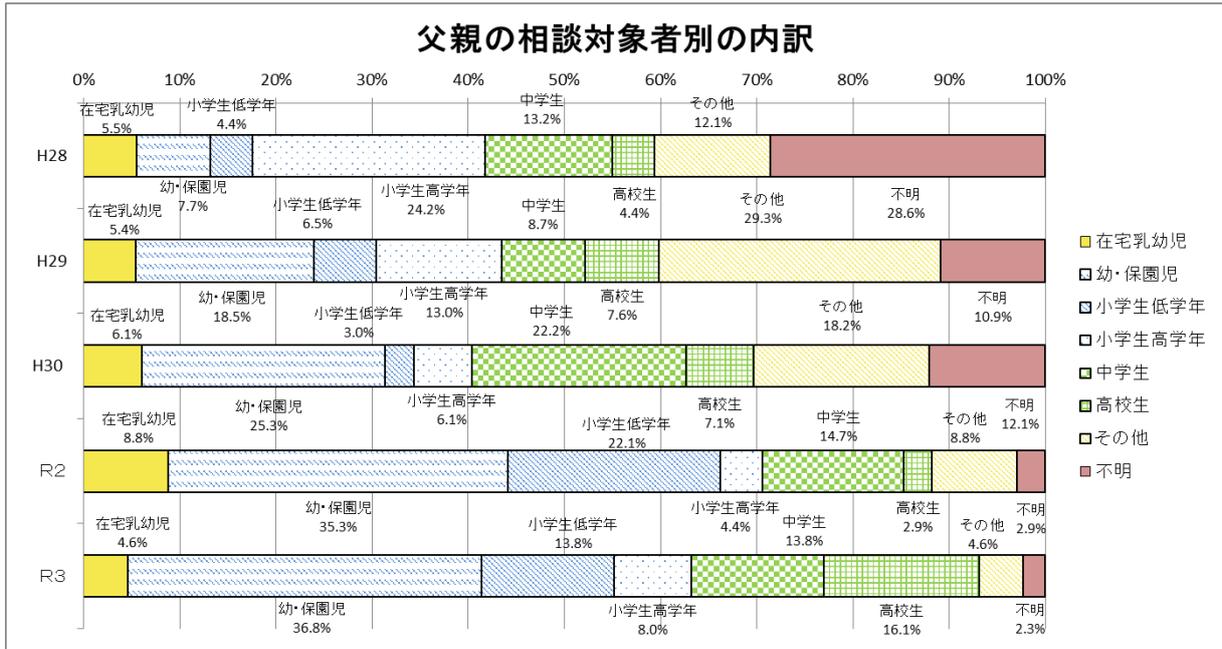
（「その他」には、専門・大学生および在宅、就労青年を含む）



母親の相談対象者別の内訳



父親の相談対象者別の内訳



7. 相談対象者の内訳

相談対象者を男女別で見ると、男性が1,469件(38.7%)、女性が2,110件(55.6%)となっています。相談対象者で最も多いのは、男性が「小学生低学年」、女性が「その他」となっており、男性で644件(43.8%)、女性で1,325件(62.8%)となっています。「不明」は相談者が、対象年齢、所属などを言わないことがあるためです。

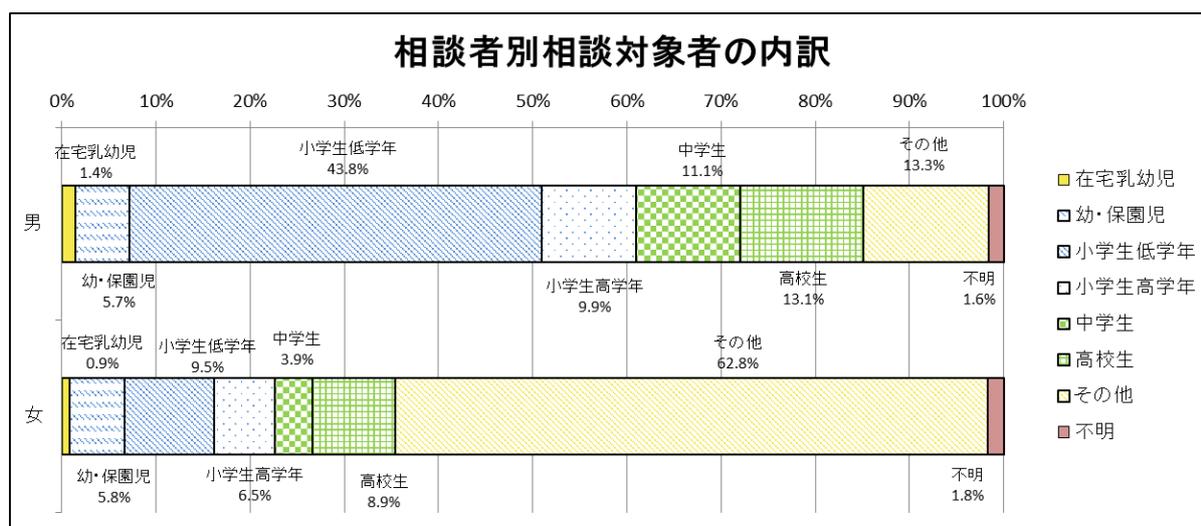
【相談対象者の内訳（本人からの相談含む）】

(件)

相談対象者	在宅乳幼児	幼・保育園児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
R2	117	151	969	209	209	250	2,257	336	4,498
R3	42	217	846	286	246	381	1,525	252	3,795
男	21	84	644	146	163	192	196	23	1,469
女	18	123	200	137	83	187	1,325	37	2,110
不明	3	10	2	3	0	2	4	192	216

(その他には、専門・大学生および在宅、就労青年を含む)

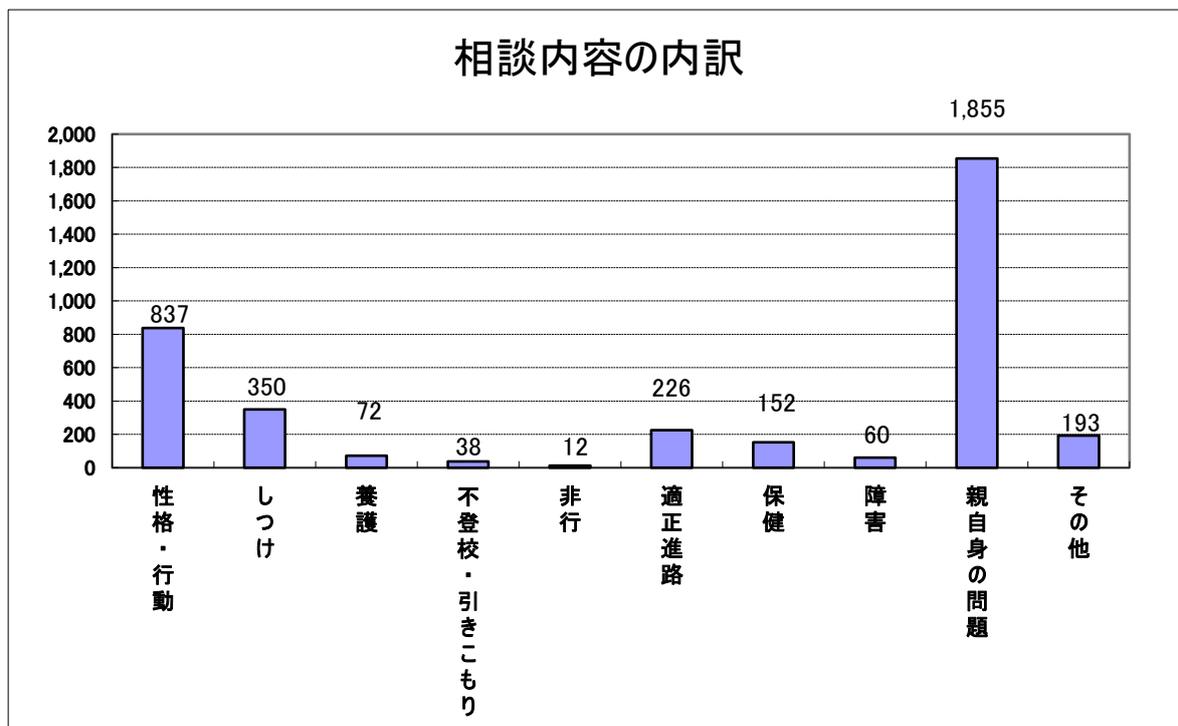
(「不明」は相談者が、対象年齢・所属などを言わないため)



8. 相談内容

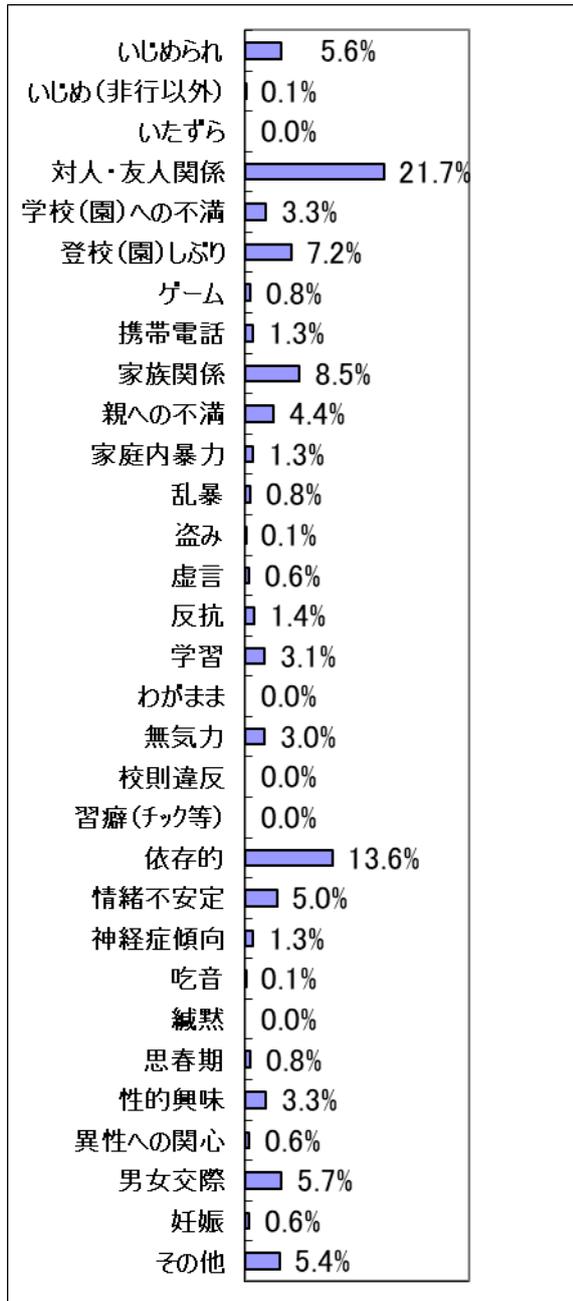
相談内容で最も多いのは「親自身の問題」に関する相談で、1,855件あり、全体の48.9%（R2年度43.2%）を占めています。次いで、「性格・行動」に関する相談で837件、全体の22.1%（R2年度29.6%）となっています。

【相談内容の内訳】（相談件数 3,795 件）

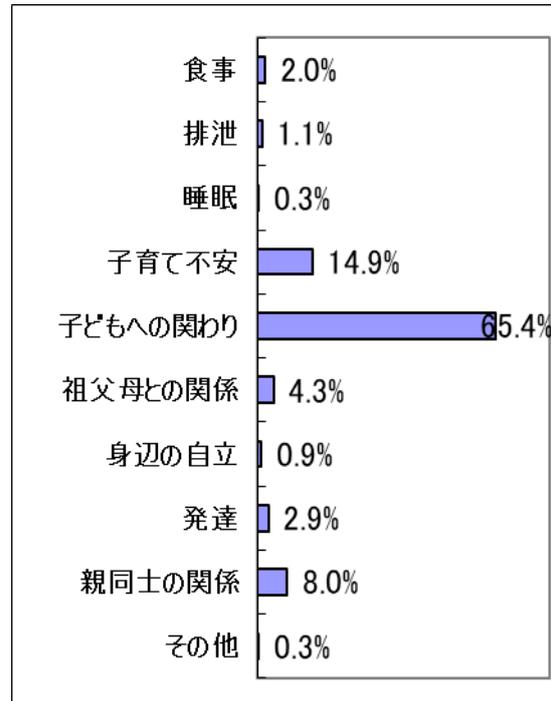


（「その他」とは、問合せ等を含む）

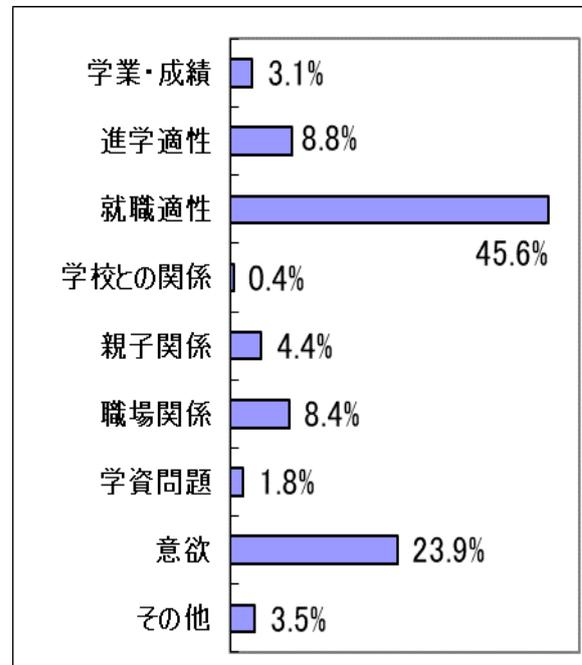
【性格・行動】



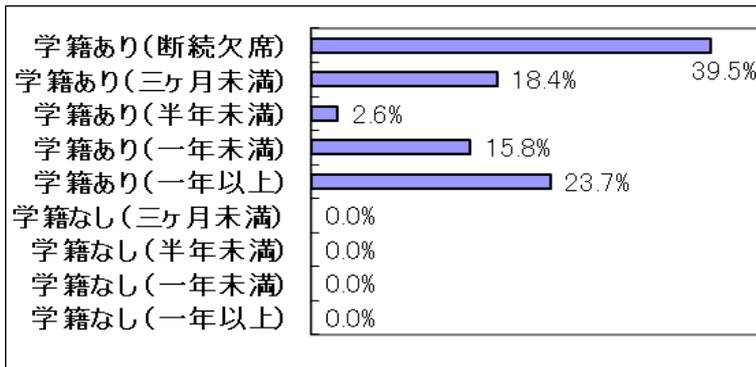
【しつけ】



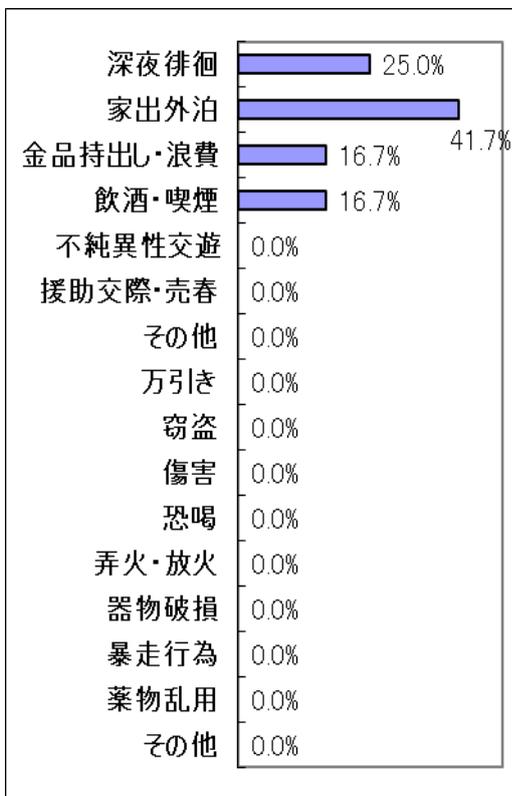
【適性・進路】



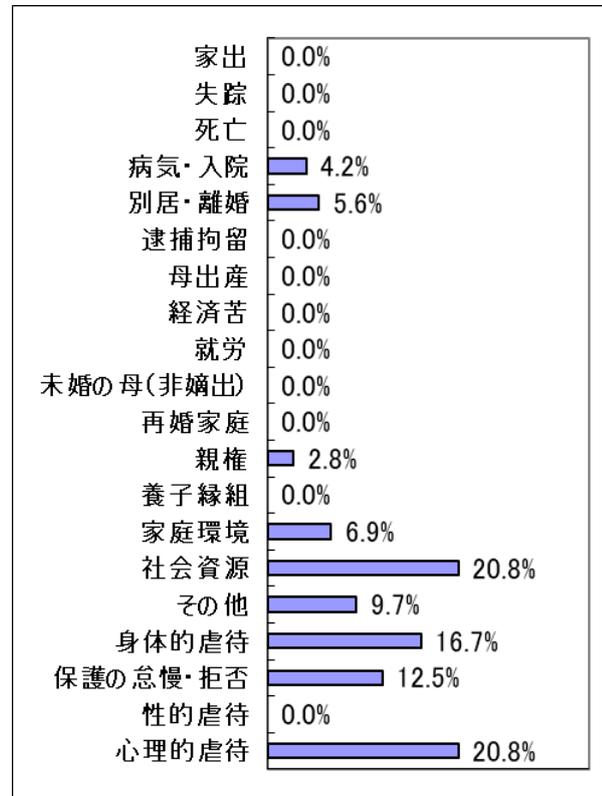
【不登校・ひきこもり】



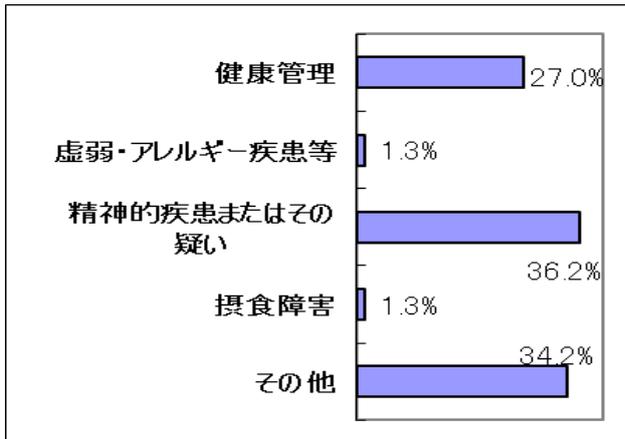
【非行】



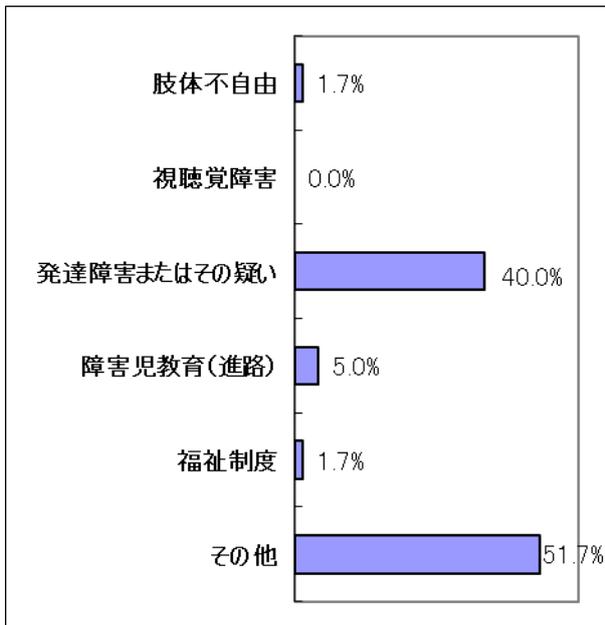
【家庭環境・養護】



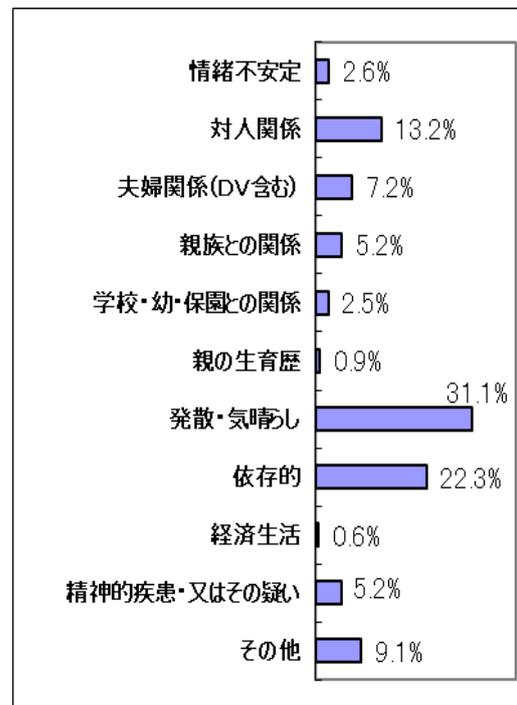
【保健】



【障害】



【親自身の問題】



9. 相談対象者別（年代別）相談内容

相談対象者別に相談内容を見ると、対象者が就学前では「しつけ」や「親自身の問題」に関する相談が多いのに対し、年代が高くなるに伴って「性格行動」に関する相談が多くなる傾向にあります。思春期を迎える年齢となり、家族関係、対人・友人関係で親・子ども共に悩み苦しんで葛藤している背景がうかがえます。

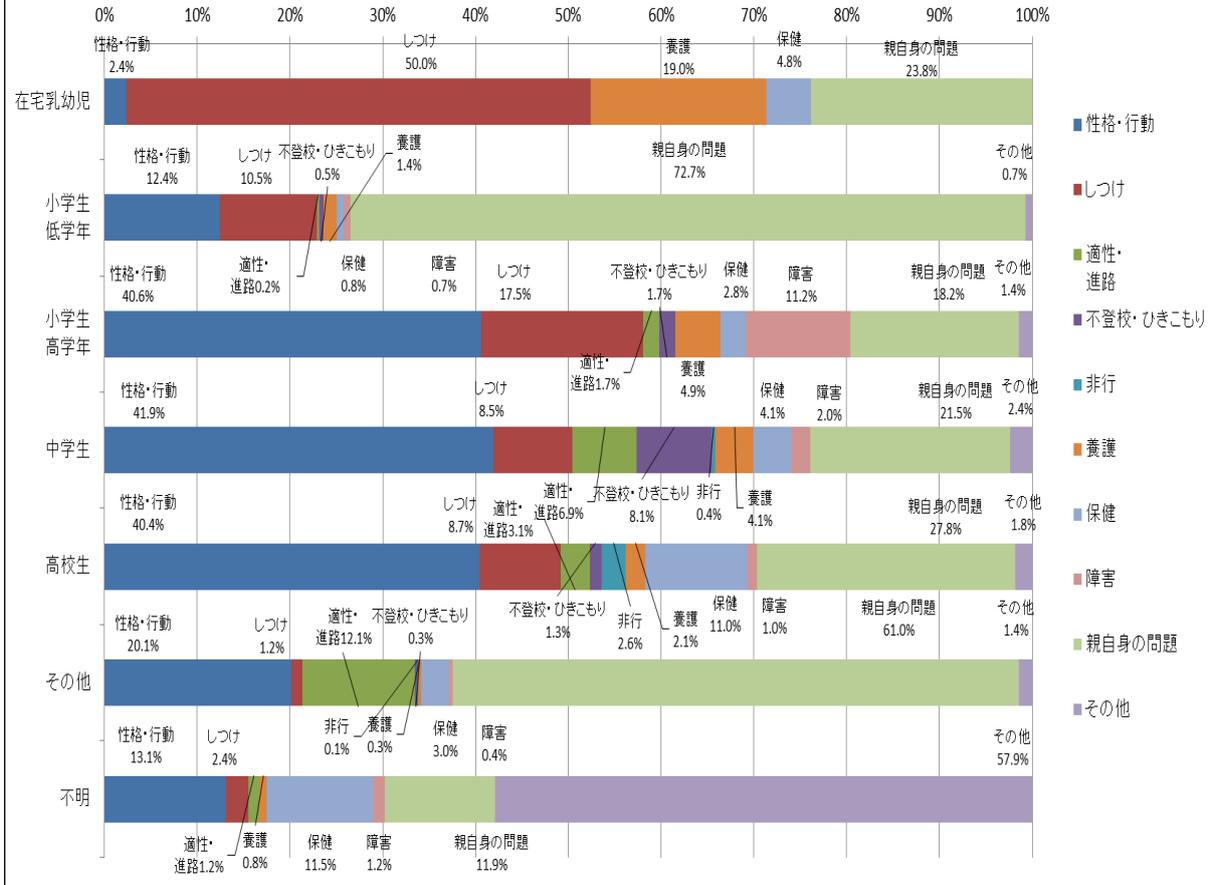
また、今年度も20代前半の成人からの無気力や依存的な性格行動に関する相談が多くありました。

【相談対象者別相談内容】

(件)

相談対象者 \ 内容	性格・行動	しつけ	適性・進路	不登校・ひきこもり	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他	計
在宅乳幼児	1	21	0	0	0	8	2	0	10	0	42
幼・保	19	112	1	0	0	12	8	4	58	3	217
小学生低学年	105	89	2	4	0	12	7	6	615	6	846
小学生高学年	116	50	5	5	0	14	8	32	52	4	286
中学生	103	21	17	20	1	10	10	5	53	6	246
高校生	154	33	12	5	10	8	42	4	106	7	381
その他	306	18	186	4	1	6	46	6	931	21	1,525
不明	33	6	3	0	0	2	29	3	30	146	252
計	837	350	226	38	12	72	152	60	1855	193	3,795

相談対象別相談内容



10. 相談者別の相談内容

(1) 相談者別の相談内容

相談者別に相談内容を見ると、本人からの相談では「性格・行動」が478件で全体の59.0%を占め、次いで「適性・進路」が177件(21.9%)となっています。母親からの相談で最も多いのは「親自身の問題」で1,832件(69.3%)、次いで「性格・行動」が296件(11.2%)となっています。父親からの相談で最も多いのは「しつけ」で23件(26.4%)、次いで「親自身の問題」が19件(21.8%)となっています。

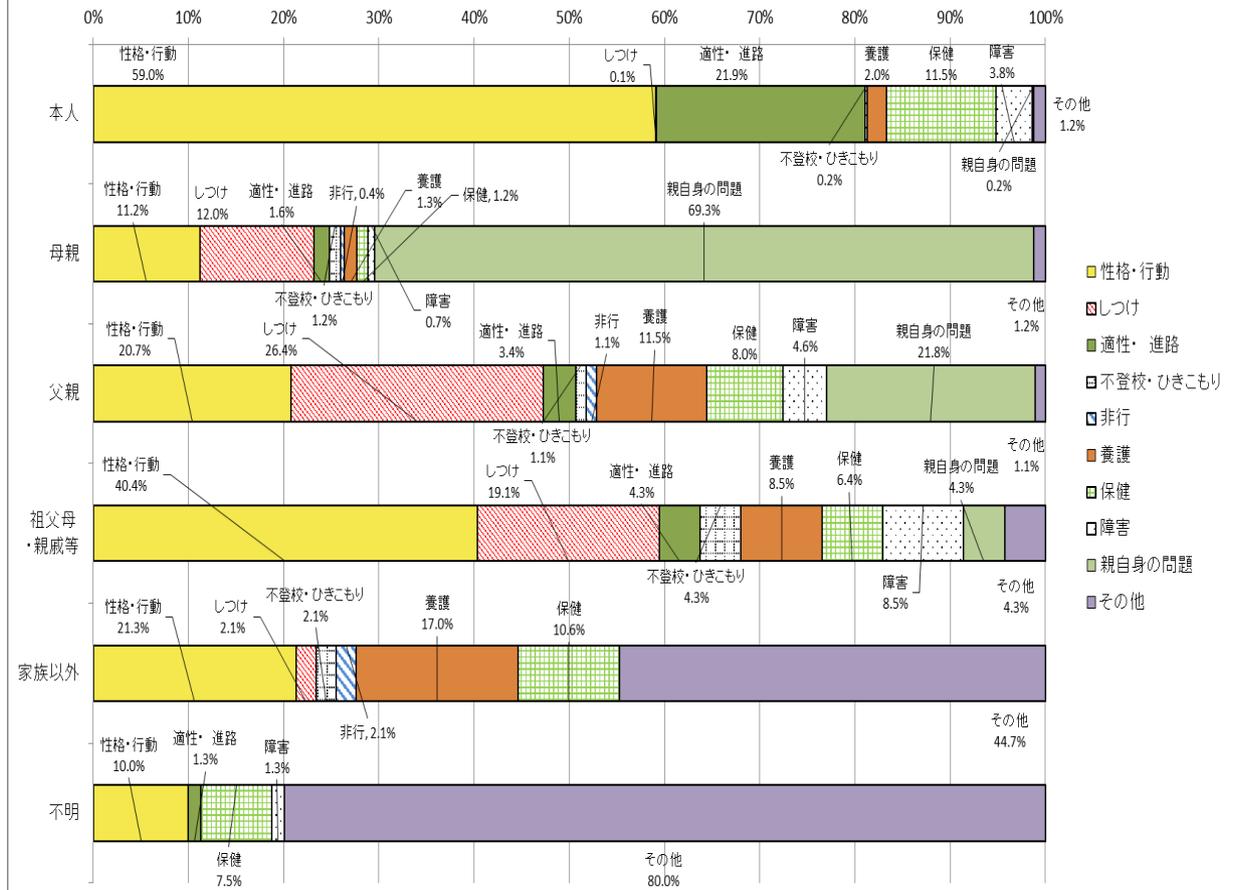
【相談者別(全体)の相談内容】

(件)

相談者 \ 内容	性格・行動	しつけ	適性・進路	不登校・ひきこもり	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他	計
本人	478	1	177	2	0	16	93	31	2	10	810
母親	296	316	42	32	10	34	32	19	1,832	31	2,644
父親	18	23	3	1	1	10	7	4	19	1	87
祖父母・親戚等	19	9	2	2	0	4	3	4	2	2	47
家族以外	10	1	0	1	1	8	5	0	0	21	47
不明	16	0	2	0	0	0	12	2	0	128	160
計	837	350	226	38	12	72	152	60	1,855	193	3,795

(親自身の問題には、子どもにとっての祖父母・親戚自身の問題を含む)

相談者別相談内容



(2) 本人相談の相談内容

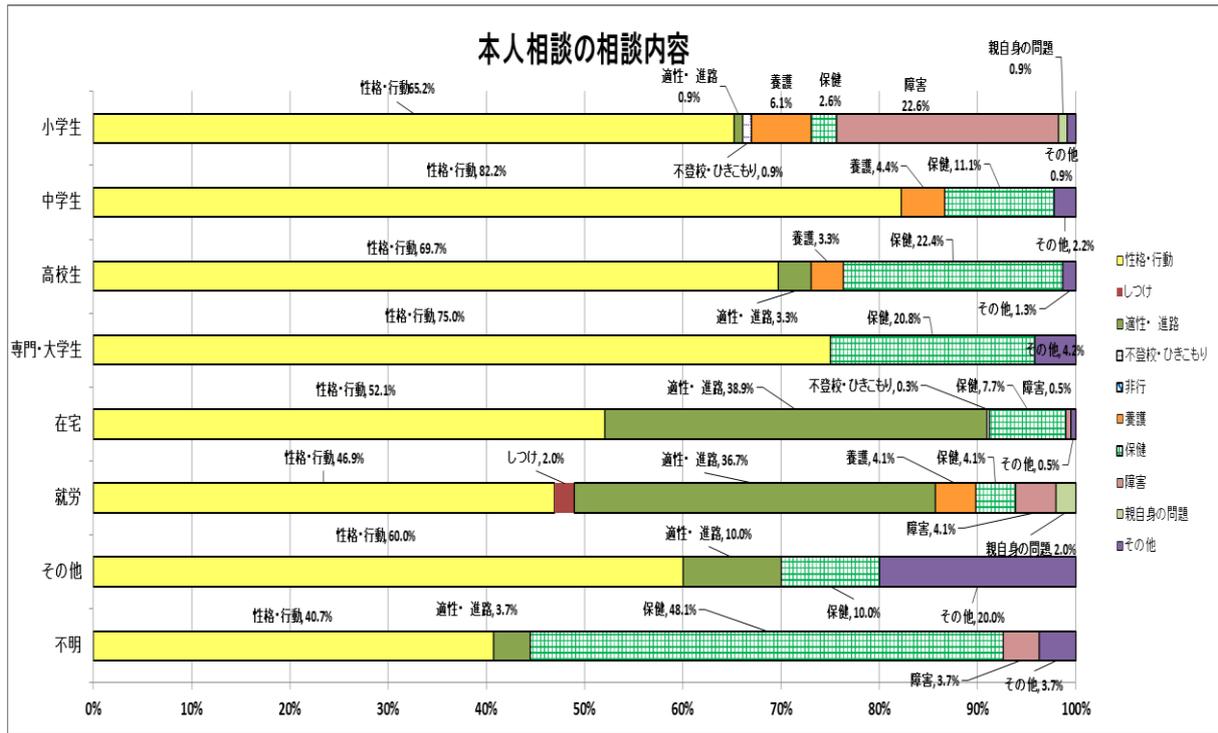
子ども・青少年「本人」からの相談内容は、いずれの年齢層も「性格・行動」に関する悩みが最も多く「高校生」では106件(69.7%)、「在宅」では202件(52.1%)となっています。相談内容は年齢が上がるに従い多様になっていますが、「在宅」の相談者からの内容では、「適性・進路」の就職適正の相談割合も高くなっており、進学や就職での自分の進むべき道を見つけられずに悩んでいる若者の姿が見られます。

【相談者別（本人）の相談内容】

(件)

相談者\ 内容	性格・ 行動	しつけ	適性・ 進路	不登校・ ひきこ もり	非行	養護	保健	障害	親自身 の問題	その他	計
在宅乳幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼・保育園児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生低学年	28	0	0	0	0	2	0	0	0	0	30
小学生高学年	47	0	1	1	0	5	3	26	1	1	85
中学生	37	0	0	0	0	2	5	0	0	1	45
高校生	106	0	5	0	0	5	34	0	0	2	152
専門・大学生	18	0	0	0	0	0	5	0	0	1	24
在宅	202	0	151	1	0	0	30	2	0	2	388
就労	23	1	18	0	0	2	2	2	1	0	49
その他	6	0	1	0	0	0	1	0	0	2	10
不明	11	0	1	0	0	0	13	1	0	1	27
計	478	1	177	2	0	16	93	31	2	10	810

【相談者（本人）別相談内容】（810 件）



1 1. 虐待・いじめ相談

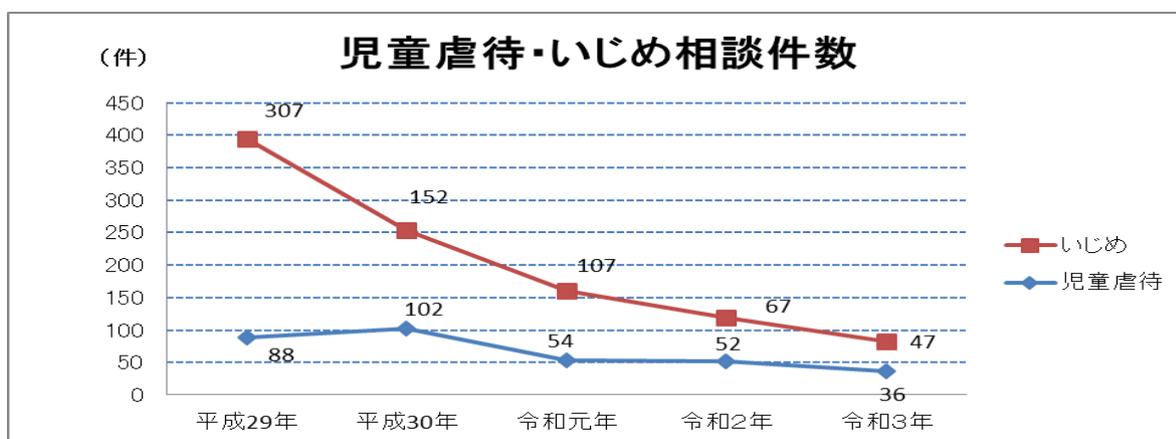
大きな社会問題となっている「児童虐待」や、「いじめ」に関する相談については、別途件数を把握しています。「児童虐待」に関する相談については、延べ36件の相談(実件数32ケース)があり、昨年度と比較して延べ件数、実件数ともに減少しています。「いじめ」に関する相談については、延べ47件の相談(実件数44ケース)があり、延べ件数、実件数ともに減少しています。これは、社会全体で児童虐待やいじめに対する意識が上がり、他機関においても、積極的にいじめ問題に対応する相談援助が行われるようになったためと考えられます。対象者別にみると児童虐待は「小学生低学年」が11件(30.6%)と最も多くなっています。いじめは「高校生」が17件(36.2%)と最も多くなっています。

■児童虐待相談件数(再掲) (件)

		在宅 乳幼児	幼・保 園児	小学生 低学年	小学生 高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
R2	延べ	5	5	6	10	18	4	1	3	52
R3	延べ	2	6	11	8	5	4	0	0	36
	男	1	3	6	3	1	2	0	0	16
	女	1	3	5	5	4	2	0	0	20
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■いじめ相談件数(再掲) (件)

		在宅 乳幼児	幼・保 園児	小学生 低学年	小学生 高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
R2	延べ	0	0	19	5	12	17	1	13	67
R3	延べ	0	1	8	9	6	17	1	5	47
	男	0	0	6	5	6	8	1	1	27
	女	0	1	2	3	0	9	0	0	15
	不明	0	0	0	1	0	0	0	4	5



x 1 2. 他の相談機関への紹介および連絡

相談者に紹介した専門機関数は延べ 315 機関(242 件)、相談件数全体の約 6.4%を占めています。主な紹介先は、市町の家庭児童相談室、県精神保健福祉センターなどです。また、センターが直接連絡した専門機関は述べ 51 機関(46 件)ありました。

■他の機関への紹介、連絡件数 (件)

	紹介機関数	連絡機関数
令和2年度	319	68
令和3年度	315	51

1 3. 相談のまとめ

- 相談者の内訳をみると、前年度に引き続き、母親からの相談が最も多くなっています。

- 相談状況を月別にみると、6月が392件と最も多く、次いで7月の357件となっており新しい年度が始まって2カ月ほど経過し、ストレスなど様々な問題が顕在化してきたことが影響していると考えられます。

- 相談開始時刻別件数をみると、「午後5時から午後6時まで」、「午前9時から午前10時まで」の順に多く、それぞれ868件、538件となっています。また、「本人」からの電話は、「午後5時から午後6時まで」が146件と最も多く、次いで、「午後6時から午後7時まで」が98件となっています。

- 本人以外からの相談で最も多いのは、「母親」からの相談で、2,644件となっています。「母親」からの相談を相談対象者別（年代別）にみると「その他」が1,040件で全体の34.8%を占め最も多く、次に「小学生低学年」で、794件（26.6%）となっています。小学生高学年から中高生に関する相談では、いじめ被害、進路問題や思春期の子どもへの関わりに悩んでかけてくる電話が多くなっています。

- 相談内容の内訳をみると、前年度に引き続き、親自身の問題がもっとも多くなっています。これは、相談者が一度の相談では、気持ちが晴れず、頻繁に相談されることがあったためと考えられます。

參考資料

子ども・子育て応援センター「こころんだいやる」
他機関紹介（令和3年4月～令和4年3月）

機関名	計	相談種別									
		性格行動	しつけ	適性・進路	不登校・ひきこもり	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
教育・子育て											
中央子ども家庭相談センター	6	1	1	0	0	0	3	0	0	1	0
〃 (女性相談)	4	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0
彦根子ども家庭相談センター	8	2	2	0	0	0	4	0	0	0	0
〃 (女性相談)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大津・高島子ども家庭相談センター	6	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0
虐待ホットライン	7	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0
189	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
県 教育委員会	6	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0
県 心の教育相談センター	9	1	0	0	7	0	0	0	0	1	0
県 総合教育センター	4	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
県 子ども・青少年局	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
市役所 (福祉関連課)	15	4	4	1	0	0	0	2	0	4	0
市町 家庭児童相談室	74	21	27	2	0	2	14	1	0	6	1
市 教育委員会	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子育て・女性健康支援センター (助産師会)	13	5	3	0	1	0	1	2	0	1	0
24時間子供SOSダイヤル	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
おおつっこ ほっとダイヤル	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県臨床心理士会；こころのほっと相談会	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
市町 発達支援室・発達支援センター	9	3	2	0	0	0	0	0	4	0	0
市 教育研究所	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
市町 保健センター	4	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0
よりそいホットライン	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
市 社会福祉協議会	5	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0
小学校	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
高 校	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

機関名	計	相談種別									
		性格行動	しつけ	適性・進路	ひきこもり・不登校・	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
犯罪被害防止等											
少年サポートセンター（大津・米原）	8	5	0	0	0	3	0	0	0	0	0
警察署	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0
県警ネット被害相談	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SATOCO	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あすくる	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
男女共同参画											
女性の人権ホットライン	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県 男女共同参画センター（Gネット滋賀）	5	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0
大津市 男女共同参画センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
保健・健康づくり											
県 自殺対策推進センター	7	0	0	0	0	0	0	4	0	2	1
精神保健福祉センター	25	7	4	3	2	1	0	5	1	2	0
精神医療センター	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ひきこもり支援センター	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
こころの電話相談	6	0	0	1	0	0	0	1	0	3	1
県 保健所	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 保健所	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
滋賀いのちの電話	5	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1
小児の救急医療に関する電話相談（#8000）	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
精神科救急医療相談	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こころの耳電話相談	12	2	4	2	0	0	1	3	0	0	0
子ども・若者総合相談窓口	7	3	0	0	1	0	0	2	1	0	0
京都府立医科大学	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
人権・法律											
大津地方務局 人権相談所（人権援護課）	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
滋賀県人権センター（人権相談室）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子ども人権110番	5	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0
県警 県民の声110番	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県警 県民センター	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法テラス	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
滋賀県弁護士会	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
おうみ犯罪被害者支援センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
県 新型コロナ人権問題相談窓口	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
しが外国人相談センター	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

機関名	相 談 種 別										
	計	性格行動	しつけ	適性・進路	不登校・ひきこもり	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
消費生活											
消費者生活センター	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
消費者ホットライン	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
労働・就労											
地域若者サポートステーション	4	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
マザーズジョブステーション	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ヤングジョブセンター	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
近江若者未来サポートセンター	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ハローワーク	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
人と暮らしのサポートセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
大津市働き・暮らし応援センター	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県労働相談所	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他											
合計	315	94	59	20	13	8	38	30	11	35	7

	計	性格行動	しつけ	適性・進路	不登校・ひきこもり	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
4月	21	10	1	5	1	0	1	3	0	0	0
5月	26	6	6	2	0	0	2	2	0	8	0
6月	36	13	3	0	2	0	4	10	0	4	0
7月	25	7	4	0	3	0	2	5	0	3	1
8月	19	1	6	2	1	2	3	2	0	2	0
9月	18	5	7	0	1	0	2	2	0	1	0
10月	41	14	8	6	0	2	3	2	2	1	3
11月	35	5	9	1	1	1	7	1	6	3	1
12月	26	11	2	0	0	0	6	2	1	4	0
1月	20	11	3	0	0	1	1	0	1	3	0
2月	30	7	6	4	3	1	6	1	0	2	0
3月	18	4	4	0	1	1	1	0	1	4	2
計	315	94	59	20	13	8	38	30	11	35	7

子ども・子育て応援センター「こころんだいやる」
直接連絡した機関（令和3年4月～令和4年3月）

	相談種別										
	計	性格行動	しつけ	適性・進路	ひきこもり・不登校・	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
中央子ども家庭相談センター	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
彦根子ども家庭相談センター	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
大津・高島子ども家庭相談センター	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
虐待ホットライン	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
大津市子ども家庭相談室	7	2	2	0	0	0	3	0	0	0	0
大津市発達相談センター	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大津市障害者相談・生活支援センター	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
大津市膳所すこやか相談所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
草津市家庭児童相談室	4	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0
草津市子育て相談センター	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長浜市家庭児童相談室	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
守山市こども家庭相談係	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
近江八幡市子ども家庭相談室	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
栗東市家庭児童相談室	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
野洲市家庭児童相談室	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
彦根市家庭児童相談室	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
東近江市こども相談支援課	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
甲賀市家庭児童相談室	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
近江八幡警察署	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
小学校	6	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0
中学校	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等学校	5	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	51	17	13	0	0	0	12	4	0	5	0

相談件数・推移

(無言・いたずら除く)

	少年アドバイザー スルーム (教育委員会 生涯学習課青 少年室)	あゆっ子電話 相談 (教育委員会 生涯学習課)	いじめホット ライン滋賀 (教育委員会 学校教育課)	進路変更電話 相談 (教育委員会 学校教育課)	子どもと家庭 の110番 (健康福祉部 児童家庭課)	ヤングテレ フォン滋賀 (警察本部少 年課)	計
平成11年度	837	1,002	70	15	1,419	375	3,718
平成12年度	1,173	1,187	62	31	1,198	457	4,108
平成13年度 (～11/19)	780	744	30	10	667	230	2,461
	青少年・子ども電話総合相談室に統合						
平成13年度 (11/20～)	1,613						
平成14年度	5,556						
平成15年度	7,177						
平成16年度	6,886						
平成17年度	8,072						
	子ども・子育て応援センターに改組						
平成18年度	(電話相談) 6,001						
平成19年度	(電話相談) 4,186						
平成20年度	(電話相談) 2,963						
平成21年度	(電話相談) 2,539						
平成22年度	(電話相談) 2,567						
平成23年度	(電話相談) 2,540						
平成24年度	(電話相談) 2,777						
平成25年度	(電話相談) 3,004						
平成26年度	(電話相談) 3,414						
平成27年度	(電話相談) 3,953						
平成28年度	(電話相談) 4,620						
平成29年度	(電話相談) 3,745						
平成30年度	(電話相談) 4,495						
令和元年度	(電話相談) 4,030						
令和2年度	(電話相談) 4,498						
令和3年度	(電話相談) 3,795						

令和4年度 滋賀県子ども・子育て応援センター業務概要

発行 令和4年6月

滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 新館2階

TEL 077-528-3554

FAX 077-528-4854

滋賀県子ども・子育て応援センター

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 東館3階

TEL 077-528-3563

FAX 077-528-4855